

# 統合医療でがんに克つ

特集

## 温熱療法によるがん治療

当センターで併用療法として  
重視しているがんの温熱療法

櫻井英幸

筑波大学・医学医療系・放射線腫瘍学教授  
筑波大学附属病院陽子線治療センター部長



### 筑波大学附属病院陽子線 治療センターについて

メインテーマである温熱療法について述べる前に、「陽子線治療センター」について簡単にご説明させていただきます。

陽子線治療は、放射線治療のひとつです。従来の放射線治療で使用されるエックス線は、体の表面近くでいちばん強い効果があります。体の奥に入るにつれて効果が弱くなり病巣を超えて体を突き抜

けるため、病巣の奥にある正常な組織や臓器を傷つけることが避けられませんでした。一方、陽子線は病巣にあたった時点で最大の効果を発揮して停止するという性質を持っています。個々の患者さんの病巣の大きさや形、深さに合わせてピンポイントで病巣をくり抜くように治療することができます。正常な組織や臓器への副作用を少なくすることができます。

当センターは、1983年に陽子線治療の本格的な臨床試験を開

始し、国内で最も長い歴史と優れた実績を有しています。筑波大学附属病院に併設し総合的ながんの治療が可能な施設で、2020年8月現在で6000名以上の患者さんが治療を受けています。肝臓がんの陽子線治療者数は世界一、また小児がんの陽子線治療者数は日本一を誇っています。臨床試験開始当初から、肝臓がん・小児がんの治療に積極的に取り組んできた結果が治療者数へと結びつきました。